

発行／さくら・市民ネットワーク
発行責任者／宮田みどり

〒285-0837 千葉県佐倉市王子台3-5-13

TEL 043-462-0618 FAX 043-489-0797 e-mail news@sakura-siminnet.com

ホームページ <http://www.sakura-siminnet.com>

第143号

2022年11月21日発行



43歳

市議 川口えみ

県政



県議 伊藤とし子



台風被害のボランティア
2019年9月 鋸南町にて



上別所の産廃問題で、現場を視察
2021年7月



オーガニック給食の署名運動
2022年10月 七井戸公園にて

県政をもっと身近に！ 若い世代につなぎます

旧統一教会が、千葉県政にも佐倉市政にも浸透していることがわかつてきました。

来春の統一地方選挙は、市民が主役の公正な政治に立て直すチャンスです。

伊藤とし子から
川口えみにバトンタッチ

こんにちは
川口えみです

この4年間、市民ネットワーク千葉県の唯一の県議として、皆様の声を県政に届けて参りました。

発熱外来や臨時医療施設などの新型コロナ対策、担任未配置などの教育問題、佐倉市の水道料金を高くしている原因の追究など、成果を上げることができました。

また、佐倉市内の通学路調査では、所属している警察常任委員会を通して、信号や歩道など、安全対策を実現してきました。

市民ネットワークは個人プレーではなく、常に全員で課題解決に取り組んでいます。一人の力には限界がありますが、次の世代に繋ぐことで、より大きなパワーを持つことができます。私のバトンを川口えみに渡し、さらにパワーアップいたします！

（伊藤とし子）

市議に送り出していただいてから、佐倉市の様々な課題に取り組んできました。子育て中だからこそ見えてくるものがあります。通学路の現地調査に基づく改善や校則の見直しを実現しました。コロナ禍を過ごす子どもたちの環境づくりにも力を入れています。総事業費37億5千万円の新佐倉図書館建設、不要不急の大型道路建設やふるさと広場大改造計画などの問題に取り組んでいます。

「政治って難しそう」というイメージもありますが、コロナウイルス感染症対策が、市によって違いがあると気づいた方も多いのではないでしょうか。政治は毎日の暮らしに直結しています。私たちが安心して暮らせるまちにするために、私たちが声をあげていく。その声を、次は県に届ける役目として、市議の経験を活かし、より一層取り組んでまいります。

川口えみプロフィール

1979年 秋田県秋田市生まれ。現在43歳
1998年 秋田県立秋田南高校英語科卒業
2002年 都留文科大学文学部国文学科卒業
2019年～佐倉市議（1期目）

【主な市民活動】

市民ネットワーク千葉県「子どもプロジェクト」リーダー
「水問題と八ヶ岳ダムを考える千葉の会」幹事
「佐倉にオーガニック給食を！」署名運動リーダー
「平和・立憲会議」千葉県世話人
「香害をなくす議員の会」会員／「耕さない田んぼの会」会員
【家族】夫と長女（10歳）、柴犬
【趣味】フルート演奏、音楽鑑賞、スピードスケート、HIPHOPダンス、ヨガ

市政



42歳

市議 松島こずえ

2期目に挑戦

1期目の4年間は、あっという間でした。これまで、ゲノム編集トマトの苗配布問題や有機給食導入、公共施設に給水機の設置、公立保育園の使用済み紙おむつ持ち帰りの廃止、民営化される南志津保育園の立地問題などに力を尽くしてきました。

コロナ禍の学校生活の問題については、「コッペパンと冷ややっこ」などの簡易給食をやめることや、できるだけ行事や授業を行うよう求めるなど、小学生を育てる保護者の目線で取り組んできました。

豪雨災害やコロナ感染拡大で、活動が制限され、やり残したことがたくさんあります。議員の活動は議会や市に訴えることだけではありません。さまざまな市民活動に関わりながら、何が問題なのかと一緒に考えていく姿勢を大切にします。

市長選 清田のり子
チャレンジします！



10月23日、市長選出馬表明の記者会見を開き、「市民が主役の市政に大転換したい」と決意表明しました。



学校給食を オーガニック給食に！

市民ネットでは署名活動を展開中！

農薬を使わないオーガニック給食は、子どもたちの健康によく、環境にもやさしい取り組みです。子どもたちの環境教育にもなります。しかし、生産者が有機農業に取り組むためには、費用や販路の確保など、さまざまな課題があります。まずは学校給食から始めることで、安定した販路が確保できるメリットがあります。

私たちは生産者が有機農業に取り組むための助成金や有機給食のモデル校を決めるなど、積極的な推進を求めています。有機給食で材料費が高くなかった場合は、差額分を市が負担するよう訴えています。

署名用紙のダウンロードはこちら →



オーガニック給食の署名運動（染井野の七井戸公園）
若い親子連れも署名してくれました

コロナウイルス感染症は、感染拡大の波を繰り返しており、感染が急拡大する度に、電話がつながらず医療機関にかかります。それでもかわらず、県市は「発熱外来を増やすことも陽性者対応も、県の役割だ」と答え、市独自の施策を行っています。

市長は子ども権利条例の制定を市長選の公約に掲げています。子ども権利条例は、日本が国際条約である子どもの権利条約を批准したことによって、各自の施設を何ら行っています。虐待や貧困、ヤングケアラ

好評につき、オーガニック給食の映画を再上映

給食が未来をひらく ～学校給食と地域の未来～

12月17日（土）

14：00～15：30

スペース結（王子台1-26-7）

参加費 無料

お問い合わせ・申込み

・TEL 043-462-0618 FAX 043-489-0797

・さくらネットのHPからもお申込みできます。

6 市独自の コロナ対策が ない！

八千代市では発熱外来を増やすための独自の補助金の支給、野田市は陽性者登録センターの設置、浦安市では小中学生に抗原検査キット配布等の施策を実行していますが、なぜ佐倉市だけやらないのでしょうか。困っている市民がいても、手を差し伸べないのが今の佐倉市政です。

7 制定は 市長の公約です

く課題は山積しています。市長当選後、公約である子どもの権利条例が制定されないので、何度も議会で質問しましたが、市長は「子どもは佐倉の宝」としながらも、「調査研究中」や「状況を見て考える」等の答弁ばかり。8月議会でも同じでした。市長の任期は残り数ヶ月ですが、宝であるのならば、早急に条例を制定すべきです。



市議 松島こずえ

市民と会わない、対話しない西田市政 モグラ図書館住民訴訟で明らかになった市の隠ぺい体質

弁護士 清田のり子



「モグラ図書館（新佐倉図書館）」住民訴訟の提訴から2年が経過し、9月27日、市職員の尋問、原告団長の岡山氏の本人尋問がありました。来年1月に結審し、早ければ3月にも判決が出ます。

この訴訟で明らかとなったのが、市の隠ぺい体質、市民の声を聴かない西田市政の実態です。市は私たちの主張に対し「理由がないから早く棄却してくれ」「証人

尋問も必要なし」との一点張りでした。私たちはあきらめず市の職員の尋問を申請し、裁判所が採用したため尋問が実施されました。

さらに市は、コロナを理由に（傍聴人に高齢者が多いという理由をつけて）非公開とすることを要求しましたが、私たちはそれを跳ね返し、公開法廷での裁判を続けてきました。

市は、用地決定前の地盤調査な

しで軟弱地盤にモグラ図書館を建築しました。案の定、引き渡し直後に、早くも壁にヒビが生じていることが判明しました。

また、歩道ギリギリに塀が建てられ、歩きにくく危険との声が挙がっています。市民の声を聴かず、何事も民間事業者任せの市政運営は、市民のためにはなりません。

不特定多数が利用する公共施設は、何よりも安全で安心できる場所でなければなりませんが、モグラ図書館は、開館前から不安がいっぱいです。

何よりも、市と市民が対等の立場で話し合い、政策を進めていく市政への大転換が必要です。皆様とともにがんばります。

「清田のり子弁護士の終活セミナー」 ～家族のために、悔いのない終活を～

介護や医療、生前整理、葬儀、遺産相続…
自分らしいエンディングのお話です。

12月10日（土）14：00～16：00

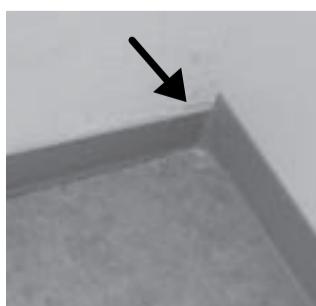
スペース結（王子台1-26-7）

参加費 無料

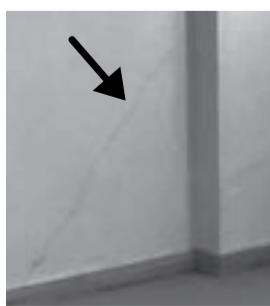
お問い合わせ・申込み

・TEL 043-462-0618 FAX 043-489-0797

・さくらネットのHPからもお申込みできます。



塩ビのソフト巾木のズレ



自習室の壁にヒビが



歩道が狭くて危険な新図書館前

9月県議会報告 いのちと暮らしと食を守るために

県議 伊藤とし子

ブログ「伊藤とし子のひとりごと」



10/28 市民ネットワーク千葉県と熊谷知事との意見交換会を行いました。

市民団体の調査により、県議 4 人（自民元職で現参院議員、自民党、立憲民主千葉民主の会、無所属）が、教団機関紙などを政務活動費で購読していることが判明。朝日新聞社のアンケートでも、教団との接点を認めた県議は 12 人。特に関連団体「世界平和女性連合（WFWP）」が目立っています。

市民ネットワークは「旧統一教会と政治との関係について、徹底的な調査と事実関係の解明を求める意見書案」を県議会に提出しました。

旧統一教会は、高額な壺や印鑑を売りつける靈感商法で、多くの被害者を出してきました。また、自民党改憲草案や家庭教育支援条例など、国や県の政策に深く介入してきたことがわかつてきました。

千葉県議会では

旧統一教会と政治

安倍元首相銃撃事件で、政治家と旧統一教会とのつながりが次々と明らかになっています。

千葉県は全国で唯一「男女共同参画条例」のない県です。堂本知事の時、成立間近だった条例案が自民党的強力な反対にあり、お蔵入りになりました。

ましたが、反対多数（自・公・立憲・民主の会・他）で否決されました。

政治を正しい姿に

千葉県は全国で唯一「男女共同参画条例」のない県です。堂本知事の時、成立間近だった条例案が自民党的強力な反対にあり、お蔵入りになりました。

ましたが、反対多数（自・公・立憲・民主の会・他）で否決されました。

負担の増えるマイナ保険証

現行の保険証なら月に一度の窓口提示だけですが、マイナ保険証では毎回、患者本人がカードリーダーで顔認証をし、タッチパネル操作を行わなければなりません。医療機関の負担やトラブルも増えます。

責任を取らないデジタル庁

大災害や大規模システム障害、セキュリティ事故などで、マイナ保険証が使えなくなれば大混乱に陥ります。現にハッカー攻撃により医療機関が機能不全に陥るところが驚くことに「損害が出たとしても国は一切の責任を負わない」とマイナポータルの「利用規約免責事項」に明記されています。

被害者が頻繁に起こっています。ところが、「自己責任」となるのです。

持ち歩いてもいいの？

マイナンバーカードは個人情報の塊です。マイナンバーは法律で特別な管理が義務付けられており、カードは本人の申請により「任意」で交付されます。

マイナ保険証を国民全員に持たせれば、顔認証と街角の防犯カメラなどで、国民の一挙手一投足を監視する社会が出来上がります。そんな監視社会など、まっぴらごめんです。「書かない番号・持たないカード」が一番安全です。

議会予定

■千葉県議会 12月定例議会（予定）

11/25(金) 開会～12/20(火)閉会
12/1(木)～2(金)、5(月)～8(木)一般質問
12/12(月)～15(木)常任委員会

■佐倉市議会 11月定例議会（予定）

11/28(月) 開会～12/19(月)閉会
12/5(月)～8(木)一般質問
12/12(月)～15(木)常任委員会

「ケアン」上映会 11/5 たくさんの方にご参加いただきました



さくらネットギャラリー

- 「福を招く磁器絵付け＆ガラス細工」
12月9日（金）～20（火）



- 「とんぼ玉アクセサリー」
展示即売
1月11日（水）～2月3日（金）



元気ファンド

基金の原資は議員報酬

(大野博美)

市民ネットワークには、「議員報酬を社会に還元する」というルールがあります。その大きな事例が「元気ファンド」です。地域に必要なサービスを創り出す市民事業や活動を応援し、助成しています。原資は議員報酬です。2004 年～2021 年まで、75 件に総額 2600 万円を助成しました。

昨年は、「コロナ禍で活動する団体」の事業を助成。こどもカフェ、マチナ力菜園、フードバンクなど 5 団体です。

私が困窮者支援の活動をしている「反貧困ささえあい千葉」も、2020 年に助成していただき、大いに助かりました。

審査は公開で行われ、各団体の工夫をこらしたプレゼンテーションは見応え十分。市民による市民のための活動支援を、皆さんも応援してください。

ゲノム編集トマト苗配布のアンケート調査を行いました (市議 松島こづえ)

ゲノム編集技術は、人体に危険な食品を生み出す可能性があり、安全性も確立されていません。開発企業が、ゲノム編集トマト苗を福祉施設や教育施設に無償配布する計画が浮上。そこで、市民ネットワークでは、千葉県の 54 市町村に苗を受け取らないよう、意向調査を実施しました。「新たな毒性やアレルゲン、がん誘発物質の発生が危惧されているため、受け取らない」と、しっかり態度を示した自治体もありました。佐倉市の回答は、「市の施設でゲノム編集の苗を活動に用いる考えはない。関係機関にも市の考えを示していく」としています。しかし、福祉施設や小学校に直接届いた場合は、施設長や校長の判断になるのか、不安が残ります。

今後も注視していきますので、ゲノム編集食品について情報がありましたら、お寄せください。